

平成24年度 杉森中学校 第10回学校運営協議会 会議録

日時 平成 25 年度 2 月 20 日(水)17 時 00 分～19 時 40 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 石田 壽文
高崎 彰
大川 洋
伴野 博美
安藤 雄太
由井 営太郎
松本 美智子
大熊 康子
大橋 亮介(校長)

PTA 会長 深野 真美子



《杉森中学校事務局》

田邊 克宣(副校長)
シュタイベリング 育子(教務主任)
松尾 宏(生活指導主任)
金子 敏治(進路指導主任)
長谷川 祐子(嘱託事務)

傍聴 一野 まり
國藤 久司

会長 今週末はもう都立の一般入試ですね。3年生には万全の体制で臨んでいただきたいと思います。今日の前半は学校のほうから、教育課程の試案を伺い、後半は学校関係者委員会を行います。

司会 今日は参観者として、國籐さんに来ていただいています。自己紹介をお願いいたします。

國籐 國籐(くにとう)久司と申します。なかなか苗字を正しく読んでもらえませんが、この地域では母が青少年育成委員をしていますので、名前をご存知の方もいらっしゃるかもしれません。よろしくお願いいたします。



司会 では、学校の報告をお願いします。

校長 2月19日現在現時点で132名の新一年生が入学予定。4学級になると思います。

来年度の2年間の研究指定校に申し込みをしました。「問題の解決や探究活動・主体的・協同的に取り組む学習指導」というテーマが区教委からあげられています。スタッフと生徒に恵まれている今、ステップアップを目指したいと思っています。9教科で探究活動をしていきたいと思っています。まだ応募段階ですので、3月15日に結果がわかります。

3月7日(木)11時から、PTA主催の卒業講演会です。3月11日(月)13時40分から、防災講演会を行います。文科省から、3.11当時仙台の指導主事をされていた長田徹氏をお迎えして震災の体験談をお話していただきます。

副校長 2月16日(土)平成25年度新一年生説明会があり、113家庭の方が見えしました。まだ未定の方が5名。馬橋が60名、杉一小が34名、後はその他の地区。

2月25日は教育課程相談日、3月7日が届出です。

3月11日の防災講演会について、地域にご連絡をいたしました。同窓会長ご夫妻もお見えになるそうです。

A委員 研究指定校の申請をされたそうですが、落ち着いた学校で、若い先生方が勉強する良い機会ですね。

教務主任 3月の行事予定表をご覧ください。3年生中心の行事になっていますが、3月5日(火)～3月11日(月)までが校内作品展、5日が3年生の総合でお弁当作りをする予定です。3月7日がPTA主催の卒業講演会です、卒業式の全体練習が12日、予行練習が14日。修了式が22日になります。

来年度の予定ですが、1月の26・27日が都立推薦。2月24日が都立一般入試になります。

内部評価についてですが、まず一つ目、来年度から水曜日の1時間目に道德、月曜の1時間目に学活を入れます。

二つ目ですが、給食の時間について、もう少し長くしてほしい、休み時間が長すぎるのではという意見もあったのですが、今年は前年と同じ時程でやってみるということになりました。

三つ目は6年生の部活動体験を設ける予定です。9月3日から7日の5日間の学校公開中に開催したらどうかということになっています。

生活指導 一年間大きな事件もなく終わりそうです。集団で集まったときの生徒の様子ですが、自分たちが並ぶことを3年から1年に引き継いでいます。私語のないように、頭がフラフラしないように来年はもっとレベルをあげてできるようにしていきたい。

ボランティアなど自主的に活動できるように、また向上していけるように指導していきたい。活躍の場を地域の方にいただいているという気持ちを忘れてほしくないと思っています。

進路指導 1年生は職場訪問が終わり、新聞作りをしています。2年生は上級学校調べを3月に実施します。3年生は都立の推薦が月27日にあり、28名中13名が合格しました。

いよいよ都立の一般入試が近づいています。75名の生徒が一般受験します。各生徒の健闘を期待しています。



- 司 会 学校支援本部から報告をしてください。
- B 委員 今日、英語検定のための面接練習をしました。
- C 委員 広報からですが、CS の安藤さんをお招きして、レスキューの隊員と座談会を行ったので、その様子を広報誌に掲載します。
- D 委員 この写真の子どもたちが着ているのが、中学生レスキュー隊のユニフォームなんですか？
- 安 藤 そうです。写真には写っていませんが、帽子もあるんですよ。
- C 委員 CS としてのレスキューに対する意味。杉森中としてのボランティアの心・地域貢献の期待についてを広報誌に載せたいと思っています。



- 校 長 平成 25 年度の教育課程・学校経営計画について。特色ある教育活動のところですが…。
- 図書室の充実。
- 食の大切さ(栄養管理だけでなく、食に関する教育)
- 数学での少人数制(学びあい)
- 補充学習の充実
- 地域のボランティア活動・体験活動に積極的に参加させる。
- 一人ひとりの役割(自分たちの責任)
- 自治力
- 朝読書を活用して書評の発表につなげる等です。言葉の教育をすすめていきたい。
- 来年は、学年全部の区学力調査の希望をださせていただきました。3 年生は国・2 年生は都、全学年区の学力調査となります。
- 経年変化をとって、杉並区の中でどのくらいのレベルなのかを知る為にデータを明確にとりたいと思います。

校長 学習意欲を高める方法の一つとして、支援本部と協力して、漢検・英検などを受検させていきたい。

職場訪問・体験の事前学習・事後学習の流れができているので、キャリア教育のひとつとして続けていきたい。

社会活動を通して道德教育としてボランティアを含めての社会貢献をやっていきたいと思っています。

小中連携も来年度、参加だけでなく研修もやっていきたい。部活動体験を通して小学生に杉森中を知ってもらいたいと思います。

C委員 6年の部活体験ですが、保護者同伴なのでしょうか。PTA や学校支援本部の協力で、なるべく多くの小学生が体験できるようにしていただきたい。

A委員 経年記録についてですが、今まで体力測定などはどうなっていましたか。

生活指導 スポーツテストの後、持久力が全国平均を超えていなかった事もありましたが、今年は平均を超えていました。5 分間完走が力になったのだと思います。持久力・短距離が伸びています。

A委員 3年間を通して記録として残していただけているんでしょうか。

生活指導 子どもには表にして渡していますが、3年間を通してではない。今後工夫してみます。

A委員 子どもにも励みになりますからね。



E委員 職場体験はもう少し製造業や職人の体験があるといいですね。土建組合にお願いするなどすれば可能です。今までにない職場体験にしたほうがいいのではないのでしょうか。

F委員 こちらからも情報提供ができるのですが、それは可能でしょうか。

生徒が体験先を探すというのが、事前学習になっています。

事前学習の前に情報を与えることが必要なのでは。その中から子どもが選ぶというストーリーが必要だと思います。

E委員 たった 5 日の間ですが、何か一つのものを作るというのがいいのでは？
作る喜びが体験できたら…。体験先はご紹介できますよ。

司 会 では、学校運営協議会はこちらで、学校評価委員会を始めたいと思います。委員はCSとPTA会長さんをお願いしています。今日はPTA会長の深野さんにいらしていただいたので、自己紹介をお願いいたします。

深 野 34回生の深野真美子です。中二の息子と杉一小に通っている息子がいます。日大を卒業し教員の経験があります。PTA会長をさせていただいています。よろしくお願いいたします。



校 長 学校評価報告書をご覧ください。右側の空欄にはご意見を書き込んでいただきたいとおもいます。まず、ESC(English Summer Camp)の実施ですが、今回1・2年生の参加が多く、抽選になりました。非常に参加意欲が高く、経験した生徒たちは英語の授業でもリーダーになっています。秋川荘が利用できるのですが、食事がついていません。次年度への引継ぎを大切にしたいです。

言語活動の充実では、朝読書は取り組みが定着しています。司書との連携で図書室も充実しています。読み聞かせや書評までは実施できず残念でした。読み聞かせは来年度の計画には入っています。

食育は、各学年で実施されています。外部指導員が明治乳業からきてくださり、バターをつくる講習をしてもらいました。栄養士・保健所との連携もよいです。それぞれの学年で非常に充実したプログラムができつつあります。次年度にもせっかく作ったプログラムですので、引き継いでいきたいです。

司 会 では、ご意見はありますか。

C委員 読み聞かせが特色というのは、中学校ではどうなのでしょう。朝読書の中の一つのパーツとしてとらえたほうが、文章的にはよいのでは…。

G委員 教員の意見として「ことばの教育」について否定的な方がいらっしゃいますが…。

副校長 世田谷で取り入れた「ことばの教育」を杉並区でも取り入れることになりました。その教材が古典に重点がおかれています。音読・反復するという教材活動を区のほうで使ってもらいたいということです。

副校長 なるべく時間をとろうということで、学校独自の取り組みもあるのですが、小学校では難しく、扱いきれない。では中学校ではやれるのかというと、朝読書もやっと定着したところで、担任が教え切れるのか…。国語の授業時数では間に合わないという問題があります。それも踏まえて 25 年度の区の方針は、職員会議で伝えました。

司 会 言語活動をなぜ充実させなくてはならないのか、日本人のコミュニケーション能力の低下もありますし、考えていかななくてははいけません。ただ、漢字をいっぱいおぼえさせる、字を読ませるということだけではいけない。自分の意見や読んだ本の感想を述べることができるという事が言語活動に必要なのではないのでしょうか。プレゼンテーション能力が大切ですね。

G委員 書類上の言語活動というところで「朝読書」が前面にでてきていますが。

副校長 月に一単位いれなくてはならないのに、朝読書のよい習慣を教材活動に変えてしまうのは惜しい。職場訪問で個人の発表があります。各教科でも発表などの場面ではしっかりと指導しています。今、どこに入れるかを検討中です。

校 長 理科好きの生徒が多い学校の生徒はコミュニケーション能力が高いという研究があります。

A委員 食育が体育の中で、体力向上・体育向上に関連付けていってほしいと思います。そのためにも記録をとってほしい。栄養管理だけでなく、その結果がどうなるかが大切だと思います。

校 長 学習指導についてです。都では平均より上で、区でも平均の少し上です。保護者の学習評価は低いのですが、子どもの評価は高いようです。保護者が高い基準をもっているのかもしれませんが。個別対応というのはなかなか難しいが、補習学習教室があるので、充実はしていると思います。

A委員 学力の底上げに重点をおいていただきたい。

G委員 学年による差はあまりないということのようですが、肯定率の低い学年がありますね。

校 長 そこは少し気になるところです。質問の仕方・受け止め方によって違うかもしれません。

C委員 補習学習教室は何人くらいですか。成果は報告がありますか？

校 長 1 年生で各学級 4・5 名くらい。基本的なものになります。数学と英語です。オープンにしていますので誰でも参加できます。

副校長 点数的なものはありませんが、勉強に対する姿勢は良くなってきていると聞いています。

司 会 補習教室の教材についても勉強しながら選定していくという事が必要だと思います。生徒一人一人にあった指導となると、外部指導員というのは？ 試験などあるんですか。

校 長 教員免許を持っている方というとなかなか厳しいものがあるのですが、それに準ずる方と実際に教えていらした方をお願いしたのでレベル的には高いと思います。

司 会 では、次は生活指導についてです。

校 長 先生方にはアンテナを高くはってもらっていて、何かあったらすぐに対応するようにしています。各関係機関・スクールカウンセラーとの連携も図っています。

今回は引き取り訓練も行われました。

校内で教育相談委員会も月に一度行っています。管理職・生活指導主任・養護教諭・特別支援コーディネーター・スクールカウンセラーで情報共有をして、指導体制を話し合います。保護者との面談もたくさん入れています。今後は教員も交えてカウンセリングマインドの質もあげていきたい。

キャリア教育のところでは、幅広い体験活動・職場体験ができたと思います。ぜひ地域に根ざしたものになっていくと良いと思います。

司 会 何かご意見ご質問は…。

E委員 先ほどの「関係機関」というのは？

校 長 これは、児童相談所などを含め、一番身近なのは済美教育センターにスクールソーシャルワーカー(SSW)があります。

G委員 いじめ問題を道德教育に生かしていけるのでしょうか？

校 長 タイムリーな話題として年に一度はそういうこともできと思いますが、年に複数回というのは今の時点ではむずかしいですね。

道德・総合的な学習についてですが、「生き方」と言うことも含め、道德の時間をカットされることのないように実施していきたい。

それぞれの体験学習に関してですが、2年生のスキー教室では生徒たちが非常によく活躍してくれました。お互いを助け合う、5分前行動ができていました。体験だけでなく教育活動もしっかりとしていきたい。1年生は秋に実施した移動教室ですが、次年度は杉並から補助金が出る、フレンドシップスクールという形で春に実施予定です。

生徒会活動では、とても頑張ってくれました。リユース運動では、難民に服を送るということで、社会貢献にも参加させていただきました。次年度も子どもたちが色々なところで活動できるようにしていきたいです。

G 委員 道徳の授業は計画性の位置づけを考えてもっと大事にしていきたい。
A 委員 災害時に地域の役に立ちたいという気持ちを持つことを、レスキュー隊だけでなく、学校全員が持ってくれる様になるといいですね。

校 長 最後は学校運営ということで、運営協議会のおかげで経営目標の達成ができたと思います。また支援本部の協力で補習教室も充実しました。
PTA 運営協議会の委員会も増やしました。今後は支援本部と P T A との協力体制が図れるといいと思います。情報提供もホームページで見られます。杉森中学校のホームページにある学校紹介をクリックして「校長のちょっとイイ話」というタブを見ていただくと、学校の近況が載せてありますので、ご覧ください。他の教員も地域に出かけてパトロールなどに協力してくれました。ますます推進していきたいです。

司 会 それぞれの視点で何かご意見をいただけますか。
C 委員 クラブ活動の外部指導員の件はどうになりましたか。支援本部にもかかわってくると思うのですが。

G 委員 教育新聞にも「土曜に民間コーチ」というタイトルで載っていましたね。中学校で運動部の指導員を委託するということですが。

校 長 新聞では、区内中学校のうち 11 校の各部活 22 部とあります。
司 会 運動部だけなんですね。文化部には配置がないのはどうしてなのでしょう。今後の成り行きを見ていかないと…

G 委員 教育目標があまりしられていない…保護者への啓発というものはどうなっていますか。

校 長 保護者会でプリントを出してはいるんですが、教育目標があまり知られていないというのは…、PTA の方から見ていかがでしょう。

F 委員 保護者会で資料を配られてもなかなか読まないのかもしれないね。よく目を通すのは、引き落としの所くらい…。よく読まないといけませんね。

校 長 学級の保護者会でも、もっと説明しないといけませんね。

A 委員 支援本部と PTA との関わり合いですが、パッピーハンズを卒業したら、支援本部に協力していただけるといいですね。学校支援本部と PTA の交流を図れるといいですね。

学校関係者委員会について区教委からアンケートがくるので、経年評価が読み取れるようにしてほしい。評価委員会ではこの結果がほしいので、項目をしばった質問にしたらどうなのでしょう。

校 長 学校独自のアンケートをやっていく必要があるのかもしれませんが。評価も含めてお出ししたいと思います。